

名古屋城天守閣整備事業

評価結果（委員 8 名の内、6 名の合計点）

項目	配点	株式会社 竹中工務店 名古屋支店		株式会社 安藤・間 名古屋支店		
		評価	評価委員の主なコメント	評価	評価委員の主なコメント	
業務の実施方針	180	144	<ul style="list-style-type: none"> <li>・かなり緻密に検討しており、プロジェクトイメージがわかる</li> <li>・プロジェクト推進体制、品質管理体制も具体的である</li> </ul>	108	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知りうる限りでの史実に忠実の具体的内容がつかみづらい</li> <li>・組織体制等は一般的である</li> </ul>	
事業費 工期	概算事業費	120	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業費裏付けが具体性がみられる</li> <li>・詳細に検討されている</li> </ul>	72	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎工事の費用でケーソンを用いない場合の積算に疑問</li> <li>・品質管理体制が曖昧</li> </ul>	
	工程計画	120	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マイルストーンの設定など、工期達成の工夫をしている</li> <li>・設計と施工の並行実施と実現を目指す工程がイメージできる</li> </ul>	72	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移動クレーンを用いて短縮の工夫をしている</li> <li>・フローチャートで手戻りが生じることのカバーができていない</li> </ul>	
施設計画	バリアフリー化	240	192	<ul style="list-style-type: none"> <li>・史実に忠実という点に苦心のあとがある</li> <li>・具体的にかなり検討されている</li> </ul>	144	<ul style="list-style-type: none"> <li>・史実に忠実の点で配慮が十分でない</li> <li>・史実に忠実の点で配慮が十分でなく、検討不足の点がある</li> </ul>
	防災避難計画					
	木材の調達	180	144	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原則国産材だが、外材の使用も視野に入れて、現実的、現段階での調査数も具体的</li> <li>・入手可能性も入念にされている、外国産の活用方法にやや難がある</li> </ul>	144	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全て国産材としているが可能かどうか疑問</li> <li>・伝統工法重視の計画で、史実に忠実な木造復元を行うとする計画となっていて、すべて国産材としている。機械かんな仕上げについて今後の課題</li> </ul>
	構造計画	360	288	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状での限界耐力試算も行っている</li> <li>・水平剛性確保の検討もあり、努力している</li> </ul>	216	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状での耐震性の検証が少ない</li> <li>・水平剛性の検討に言及していない</li> </ul>
	仮設計画					
	復元過程の公開方法	120	96	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オープンデッキで展示展望できるように工夫している</li> <li>・展示等が提案されており、市民への情報公開に活用できる</li> </ul>	96	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工事現場と木材加工場の両方を見学させるものとしている</li> <li>・展示等が提案されており、市民への情報公開に活用できる</li> </ul>
現天守閣の記憶を後世に伝える方策						
合計点	1320	1056		852		

名古屋城天守閣整備事業 選定結果



(パース：株式会社 竹中工務店 名古屋支店作成)

優先交渉権者（優秀提案）

株式会社 竹中工務店 名古屋支店

次点

株式会社 安藤・間 名古屋支店

提案内容の比較

提案者	株式会社 竹中工務店 名古屋支店			株式会社 安藤・間 名古屋支店			
バリアフリー	車椅子利用者用小型エレベーター (地層～初層、初層～4層) (4人乗り)			高層一般ビル向けエレベーター (地層～5層)他合計3台 (11人乗り)			
復元過程の公開方法	素屋根内見学施設(5階建て)			復元インフォメーションセンター 見学スペース			
木材利用	原則、国産材 一部外材を使用			全て国産材を使用			
総事業費 (千円) (税込み) (建設費・ 設計費)	現状維持 保存	石垣	ケーン	総事業費	石垣	ケーン	総事業費
		利用	47,368,800	現状維持 保存	利用	44,787,600	
	不利用	47,844,000	不利用	44,863,200			
	積直し	利用	49,971,600	積直し	利用	46,342,800	
不利用		50,446,800	不利用	46,418,400			
天守閣 竣工時期	2020年7月			2020年6月			

事業費参考額（概算経費）と提案額(石垣現状維持・保存、ケーン基礎不利用)の検証

平成24年度「名古屋城天守閣木造復元概算経費・工期算出調査報告書」(抜粋)において、報告書当時に考慮されていないと想定される項目と建築基準法3条適用のための協議や調査により付加される検討項目等が、今回追加項目となっています。※主な項目のみ記載しました。 「竹中工務店 提案書より抜粋・整理」

1. 仮設工事(1)

・ 工事車両の北側進入に伴う外堀横断用仮設橋梁の設置費(設計費共)と車路・  
 棧橋の増設費(設計費共)、名城公園仮囲い設置費、名城公園借地賃料 増額金額：1,070,900千円

2. 仮設工事(2)

・ 素屋根設置費・解体撤去費(設計費共) 増額金額：3,030,000千円

3. 仮設工事(3)

・ 大量発注となる木材保管庫・加工場の設置費と借地賃料 増額金額：664,000千円

4. 基礎杭工事

・ 現天守の既存ケーンの耐久性が見込めない場合のケーン内の  
 コンクリート撤去費、杭新設費用 増額金額：440,000千円

5. 地下躯体工事

・ 地下からの木造復元と石垣に荷重を負担させない工夫 増額金額：64,900千円

6. 屋根工事

・ 大天守初層目と小天守を除く銅板瓦葺き屋根の黒チャン塗り費用 増額金額：454,000千円

7. 左官工事

・ 外壁の提案仕様は、荒壁後、7層塗り費用 増額金額：858,000千円

8. 雑工事

・ 下足箱・防諜ワイヤー・階段手摺他 増額金額：167,600千円

9. 構造耐震補強

・ 内部板壁内に構造補強CLTの設置、屋根裏野地板補強、  
 床板板厚アップによる補強費用 増額金額：1,509,500千円

10. 防災計画

・ スプリンクラー設備(増強分)・放水銃設備・ドレンチャー設備・炎センサー設備・  
 耐圧路盤設置費用 増額金額：261,800千円

11. 避難計画

・ 仮設避難コア設備・加圧給気設備・階段追加設置費用 増額金額：125,100千円

12. バリアフリー計画

・ 仮設エレベーター設備・チェアリフト設備・スロープ設備設置費用設備 増額金額：115,900千円

13. 新たな要求項目

・ 仮収蔵庫の設計費・新設費・解体撤去費・借地賃料 増額金額：886,000千円

14. 提案項目

・ 市民ギャラリーの新設費用 増額金額：76,300千円

15. 提案項目

・ WC別棟新設・ユニバーサルステーション新設費用(設計費共) 増額金額：244,000千円

【事業費参考額と提案額との差異合計金額(税抜)]増額項目 9,968,000千円

減額となっている項目

・ 直接仮設・木工事・銹金具工事・建具工事・石垣工事・解体工事 減額金額：4,956,900千円

【事業費参考額と提案額との差異合計金額(税抜)]増減差額 5,011,100千円